

平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典



10月20日（月）、平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ隈丸優次特命全権大使と特定非営利活動法人ピープルズ・ホープ・ジャパンの市原カンボジア事務所所長が、「コンポンチャム州母と子のための地域保健システム強化事業」（供与限度額：141,232米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

本案件では、コンポンチャム州ストゥントロン保健行政区において、母子を対象とした地域保健システム強化事業を実施します。地域住民に最も近い公的医療機関である保健センターのサービス改善及びそれを支える保健行政区の管理能力強化、保健センターと村の関係構築、そして住民への母子保健教育機会の提供を中心に住民の参加を促す形で本案件に取り組むことで、約3万2千人の地域住民らが裨益すると見込んでいます。



式典では隈丸大使がスピーチを行い、カンボジアの母子保健事業に携わってこられた方々に対し敬意を表しつつ、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接的に裨益することで、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて、市原現地統括代表より、日本国民及び政府への感謝の意を表明しつつ、既存の保健センターを最大限活用することにより、妊産婦や乳幼児の死亡率減少に努めていく旨が表明されました。

